

(1) 大型バス駐車スペースに関する市の認識

①必要性

利用状況を見ると、中央駅西口駅前広場のバス駐車場だけでは駐車スペースが足りない日があるほか、スクールバスや修学旅行など多人数乗降者がある時間帯では安全面等を考慮して第二バス駐車場を活用しており、中央駅西口駅前広場バス駐車場のみでは対応できない状況があることから、第二バス駐車場は必要と考えている。

中央駅周辺に工業試験場跡地と同等の機能・スペースを有する利活用可能な代替地はないと認識している。

東口駅前広場については、路線バスの定時性確保のため、基本的に路線バスと観光バスを併用するバス乗り場を設けていない。

観光交流センターバス駐車場については、甲突川沿いの緑地や観光施設を訪れる観光客のための駐車場であり、障がい者等用駐車区画があるほか、中央駅から距離があり、駅利用客の利便性からも難しいものと考えている。

②同跡地への整備

現状のバス駐車場の機能を確保することをお願いしたい。

バス駐車スペースと周辺の渋滞等

(鹿児島市作成・説明資料)

(2) 西口駅前広場の混雑対策

①駅前広場の交通状況の調査

【調査対象】

一般車両, バス, タクシー

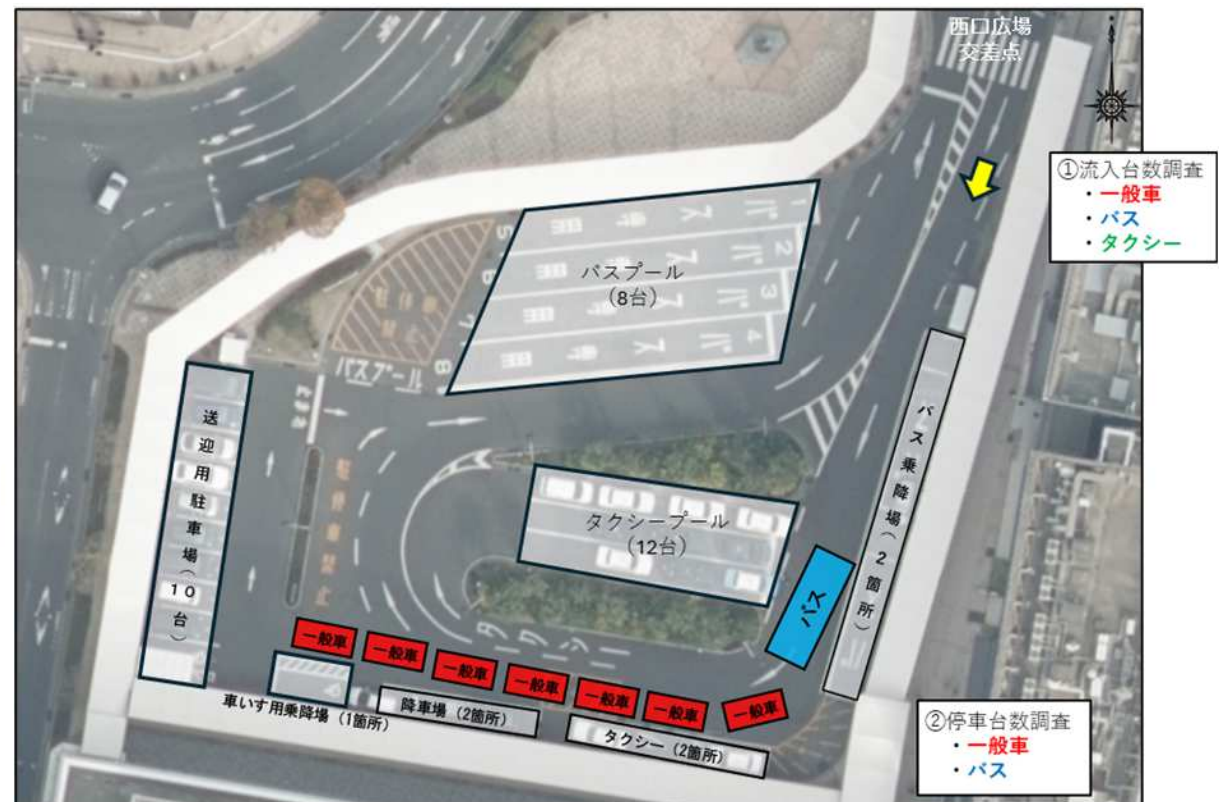
【調査日時】

平日:令和6年11月 7日(木) 6時~20時

休日:令和6年11月10日(日) 6時~20時



11/10(日) 8時 第一バス駐車場



バス駐車スペースと周辺の渋滞等

(鹿児島市作成・説明資料)

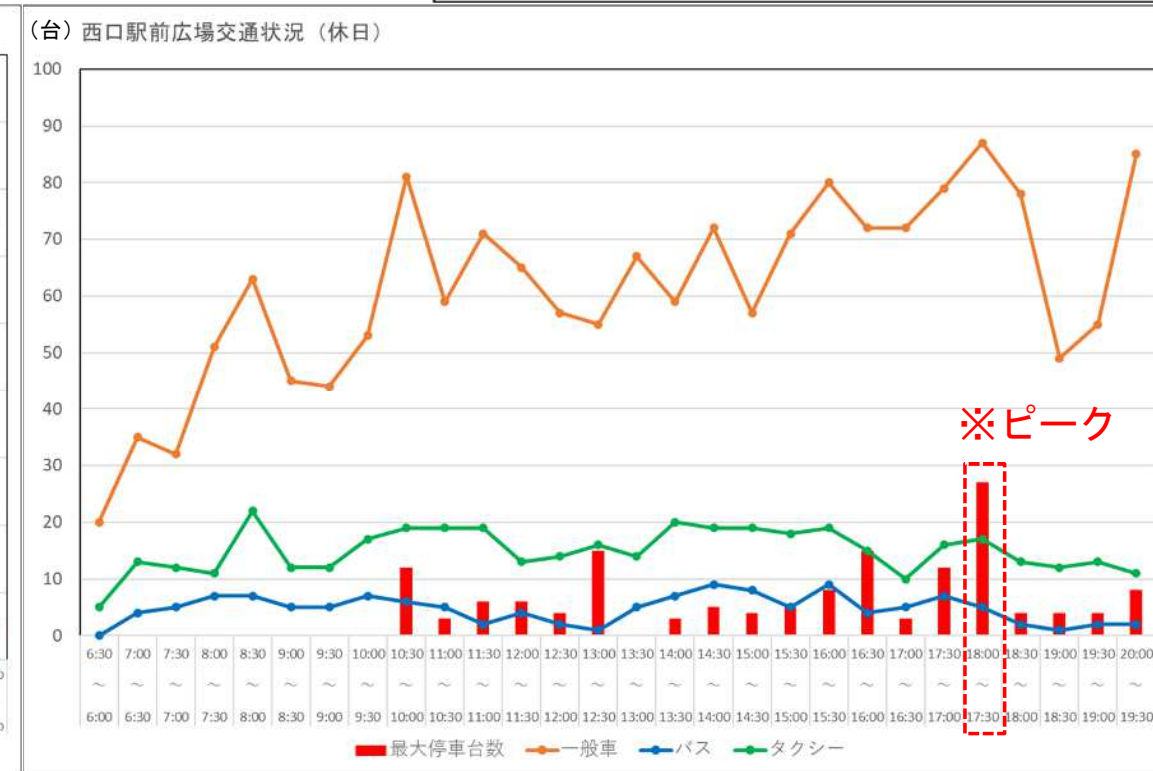
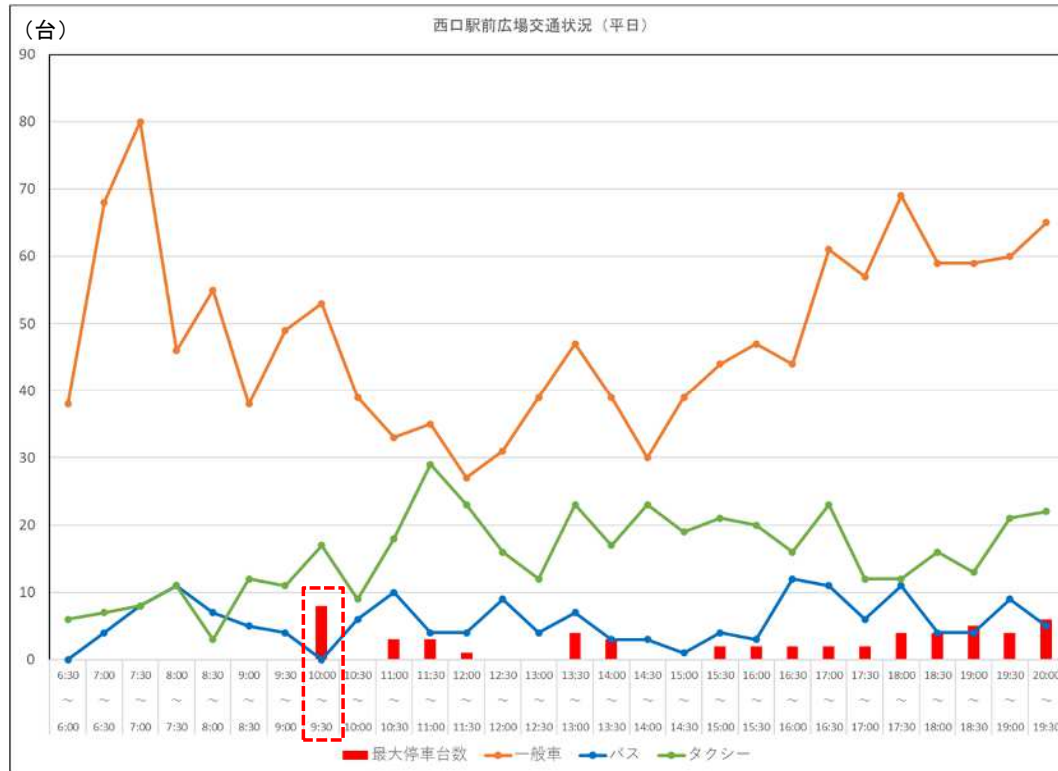
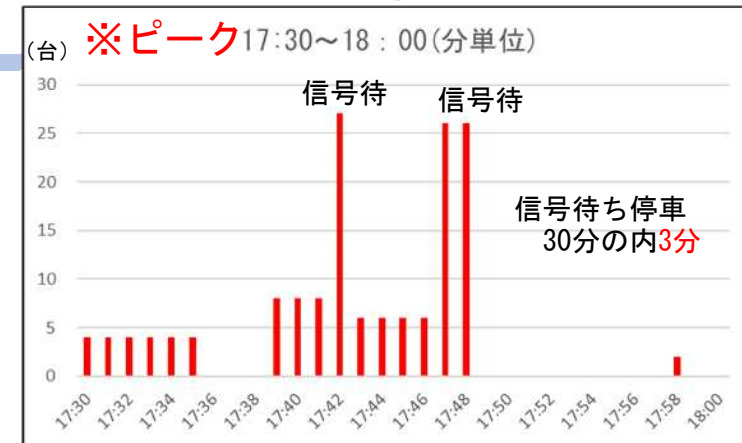
(2) 西口駅前広場の混雑対策

① 駅前広場の交通状況の調査

調査日		累計流入車両数（単位：台）				渋滞状況	
月日	曜日	一般車	バス	タクシー	計	渋滞回数	最大停車台数
11月7日	(木)	1,351	159	440	1,950	33	8
11月10日	(日)	1,714	131	420	2,265	30	27

11月7日(木) 6～20時

11月10日(日) 6～20時



【平日】

【休日】

- 7 時～7時30 分，17 時30分～18 時が一般車両の流入交通のピーク（通勤・通学時間帯）。
- 走行車線への停車車両は，9 時30 分以降断続的に発生。最大8 台の停車車両（9 時30 分～10 時）

- 10 時以降は常時流入量が多い状況。
- 走行車線への停車車両は，10 時以降断続的に発生。信号待ちにより最大27 台の停車車両。（17 時30 分～18 時）

バス駐車スペースと周辺の渋滞等

(鹿児島市作成・説明資料)

(2) 西口駅前広場の混雑対策



バス駐車スペースと周辺の渋滞等

(鹿児島市作成・説明資料)

(2) 西口駅前広場の混雑対策

①駅前広場の交通状況の調査

【調査結果まとめ】

- 平日，休日共に，走行車線に停車する車両が10 時以降断続的に発生しており，主に送迎用駐車場（20 分無料）の待機車両である。

【送迎用駐車場の取扱いに関する市の認識】

- 送迎用駐車場は，駅利用者の送迎用として，地元の意見や「駅前広場計画指針」（建設省）に基づき設置。
- 高齢者の送迎や緊急を要する送迎などに必要不可欠な施設であると考えている。



11/10(日) 11 時 送迎用駐車場

バス駐車スペースと周辺の渋滞等

(鹿児島市作成・説明資料)

(2) 西口駅前広場の混雑対策

②対策（案）

広場内の渋滞は、送迎用駐車場の待機車両が走行車線に停車していることが主な要因であり、降車場に一定時間以上停車している車両も散見されることから、下記対策を検討。

①注意喚起の表示

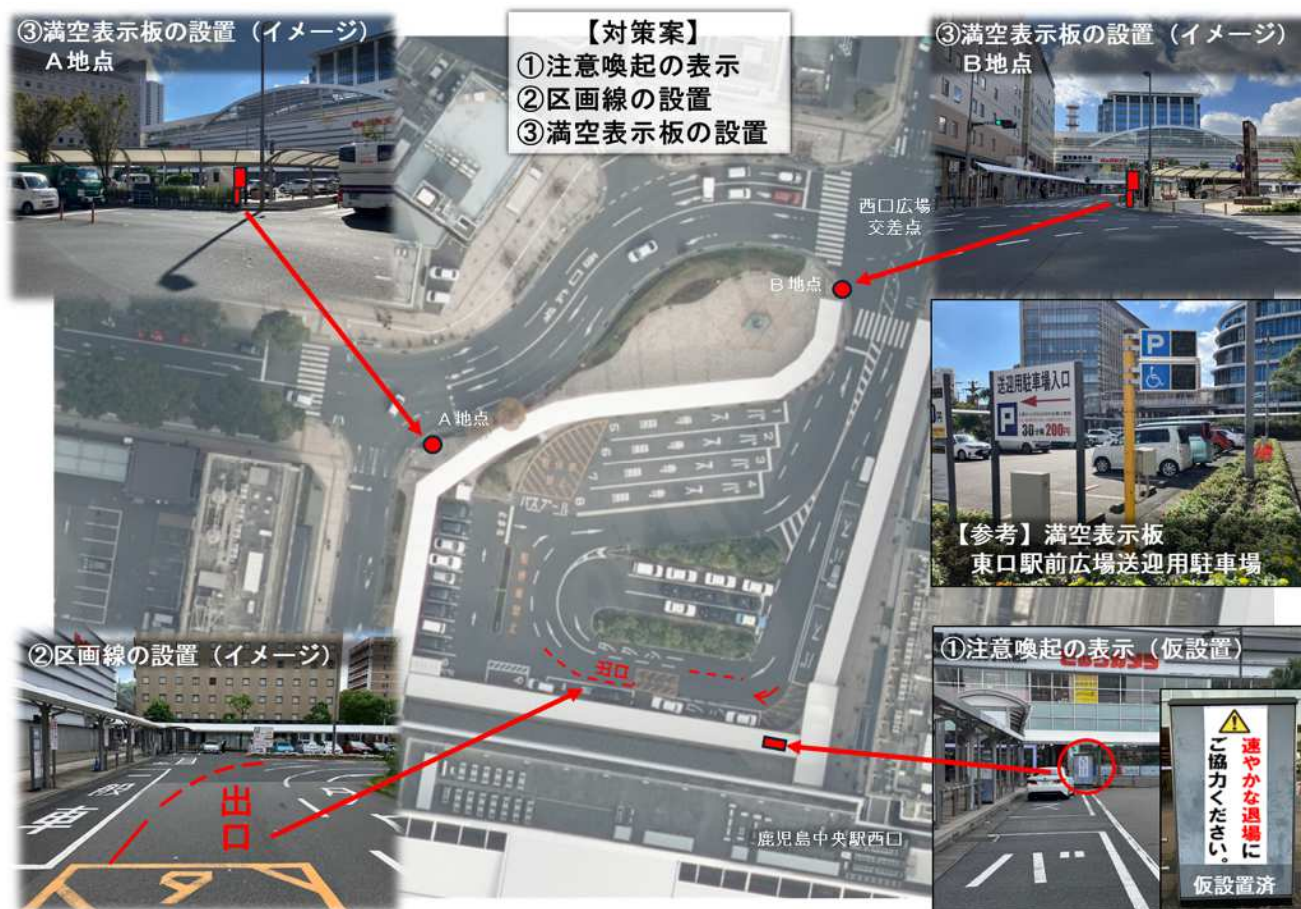
車両の速やかな退場を促す。

②区画線の設置

走行車線を明示し、走行車線内の停車を抑制する。

③満空表示板の設置

送迎用駐車場の満車時に満車表示を行い、広場内への車両流入を抑制する。



バス駐車スペースと周辺の渋滞等

(鹿児島市作成・説明資料)

(3) 同跡地周辺道路の渋滞対策に関する市の考え方

① 周辺市道（武25号線，武32号線，柳田通線）の状況

- 県工業試験場跡地を含む県道鹿児島東市来線，市道平田橋武線，市道鹿児島中央駅西口線及びＪＲ鹿児島本線で囲まれた範囲は，生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として，武小学校や地元町内会等と協議の上，平成25年度に当該区域を「ゾーン30整備区域」として設定し，警察による最高速度30km/hの速度規制と道路管理者による路面標示等の対策を行っている。
- 「混雑度」は，交通容量に対する交通量の比であり，数値が1未満であれば，道路が混雑することなく円滑に走行できると判断され，本市の調査によると，武32号線など3路線の混雑度は1未満であった。

② 道路整備の計画

- 現在，武25号線の柳田通線と平田橋武線を結ぶ区間の拡幅に向けた取組を進めている。
- 柳田通線は，平成25年度のゾーン30整備において，走行速度や通過交通の抑制を図るため，中央線を消去し，路側帯を広げた上でカラー舗装(緑色)を行っていることから，今後，道路整備の計画はない。

